

# オリック通信 No 3

## 知って得する洗濯術

### 【大切な服を末長く着るコツとは？】

衣替えなどで衣類をしまう時、洗ってから片付けるのは服の寿命を長持ちさせるためにとても重要なことです。もしこれを怠って洗わずに片付けてしまうと、汚れた部分が変色してしまったり虫に食われたり、衣類が駄目になることは皆様もご承知の通りです。衣替えなどで衣類をしまう時、洗ってから片付けるのは服の寿命を長持ちさせるためにとても重要なことです。もしこれを怠って洗わずに片付けてしまうと、汚れた部分が変色してしまったり虫に食われたり、衣類が駄目になることは皆様もご承知の通りです。



しかし、今着ている冬物の衣類は、本当に片付け洗うだけで良いのでしょうか？ 実は春になるまで洗わずに放置しておいては、手遅れになることもよくあるのです。冬物は、急な冷え込みやファッションの先取りなどで11月頃から着始めます。そして、服が一番汚れやすい時期はクリスマス会や忘新年会がある12月初旬～1月下旬頃です。

もしこの最初の2～3ヶ月の間に汚れがついてしまっても、春の衣替えの時期はまだ1～2ヶ月以上も先です。その頃まで汚れを放置しておいたら、一体どうなるのでしょうか？ 年末年始にはお酒を飲む機会が多いので、食べこぼしだけでなく、アルコールを含んだ汚れなどもあります。また、パーティや忘新年会など多くの人と触れ合ったり騒いだりする機会も多いので、自分は気をつけていても知らないうちにシミがついていたりもします。

その汚れやシミが、春頃には徐々に変色し始めます。さらにその汚れた部分が、2月頃から発生する虫達に食われてしまったりもします。そうなる前に1月下旬から2月にかけて、一度洗濯しておきましょう。

その頃でしたら、汚れやシミも簡単に落ちますよ。実はこうして季節の中頃にケアをしておくことが、洋服の寿命を長持ちさせる最良のコツなのです。

また、冬物を長期間着ていると、摩擦や汚れの付着によって起毛がなくなり、保温効果が薄れてしまいます。しかし、洗濯することによって起毛は戻りますのでまた保温効果も高くなり、洗う前とくらべるとより暖かく着ることができます。お気に入りの服は季節の中頃にもこまめに点検やケアをして、末長く大切に着たいものですね。

